

## 桐原容器工業所様、段ボールラッピング電車運行

弊社でISO9001を認証取得されている株式会社桐原容器工業所様(本社:広島市、<https://kiriharayoki.co.jp/>)が、広島電鉄の電車に、段ボールで作った電車をイメージしたラッピング広告を施工されました。

同社は、段ボールをはじめとした自動車関



連の包装資材を中心に、あらゆる包装資材を製作されている老舗の段ボール製造メーカーです。ラッピング電車は、この技術をもっと多くの方に知っていただき、使っていただきたいの思いから作成され、昨年末から1年間の予定で走行中です。運行系統は、広島駅と広電宮島口を結ぶ2号線、使用車両は3900形電車です。さらなる同社の認知拡大、事業展開を期待したいと思います。

## BBSジャパン様、F1の統一ホイールを独占供給

自動車レースの最高峰F1(フォーミュラワン)や米国の代表的レースNASCAR(ナ斯卡)が初導入する車の統一ホイールに、日本製品として、弊社でIATF16949を認証取得されているBBSジャパン株式会社様の製品が採用されることになりました。F1について、同社がこれまでフェラーリなどのチームに製品を供給してき実績が評価されたとみられ、2022年からそれぞれ4年間と3年間、独占供給予定とのことです。今号の「お客様からのお便り」で同社をご紹介しますので、合わせてご覧ください。

## SDGインパクト基準セミナー開始のお知らせ

弊社ではSDGインパクト基準セミナーをオンラインにて新たにスタートしました。

国連開発計画(UNDP)では、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた民間資金の流れを拡大するために、「SDGインパクト」という取組みを進めており、本セミナーでは、SDGインパクト認証によってUNDPが企業の取組みを制御できる仕組み、規格概略と予想される審査方法、そして取り組むべきテーマとその実施法事例についてご紹介します。認証機関として1万社以上の審査に携わった豊富な経験をもとに、具体的にどのような取組みを行うことでSDGインパクト基準への適合を実現できるのかを盛り込んだセミナーとなっております。

お取引先様へのSDGs対応依頼のご担当者様、SDGインパクト基準対応のご担当者様に最適なセミナーとなっております。昨年12月に第一弾を開催、今年も開催予定です。ご興味がありましたら、弊社ホームページをご参照いただくか、弊社東京事務所インターテックアカデミー&トレーニング(03-3669-7435)までお気軽にお問い合わせください。

## INFORMATION

～規格改訂情報～

### ISO/IEC 27002の改訂について

～情報技術—セキュリティ技術—情報セキュリティ管理策の実践のための規範～

前号(75号)でお知らせいたしましたISO/IEC 27002の改訂に関し、ISO/IEC 27001を含め、その後の状況についてお知らせいたします。

ISMS認証組織のお客様に関係するISO/IEC 27002:2022 Information security, cybersecurity and privacy protection - Information security controls の英語版が発行されました。英語版は、日本規格協会のサイトにて販売が開始されています。[https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsyo\\_id=ISO%2FIEC+27002%3A2022](https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsyo_id=ISO%2FIEC+27002%3A2022)

今回のISO/IEC 27002:2022への改訂に伴い、ISO/IEC 27001:2013の管理策が変更されました。引き続きISO/IEC 27001の改訂も今後予定されていますが、時期・内容についてはまだ正式発表はされていません。ISO/IEC 27001改訂版への移行期間は、規格が改訂され英語版の発行日から最大2年間と予想されています。ISO/IEC 27001改訂版は、2022年第4四半期になるとの予想ですが、発行日が決まり次第、追ってISMSのお客様にはご案内申し上げます。

#### 【変更の背景と詳細】

- ISO/IEC 27001:2013の附属書Aの管理策は、9年前に最後に改訂された27002から直接派生しているため、現在の用語とテクノロジーを反映させる目的として、ISO/IEC 27002を更新する必要があると判断されました。
- 本質的に、ISO/IEC 27002はISO/IEC 27001の附属書Aの実践のためのガイドラインであり、ISO/IEC 27002の更新はISO/IEC 27001に影響します。ISO/IEC 27001との整合性のため、ISO/IEC 27002の改訂版の正式リリース後にISO/IEC 27001の附属書Aに反映され改訂となる予定です。
- 2022年2月にISO/IEC 27002が発行され、ISO/IEC 27001の附属書Aは、新しい管理策・番号として、2022年第4四半期に発行される見込みとなっています。

本件についてのお問い合わせは、弊社東京事務所 ISMS認証部(03-3669-7408/gordon.moir@intertek.com)までお願いいたします。